



知る力と見抜く力を身に着けて、
あなたがたの愛がますます豊かになるように (フィリピの信徒への手紙 1章9節)

Your love may abound still more and more
in knowledge and all discernment. (PHILIPPIANS 1:9)



安らかに信頼していることにこそ力がある

—イザヤ書30章15節—



九州学院チャプレン (学校付牧師) **小副川 幸孝**

表題の聖書の言葉は、旧約聖書の『イザヤ書』の中の一節ですが、これはわたしが洗礼を受けてキリスト者になって以来、ずっと自分の座右の銘の一つにしてきた言葉でもあります。

預言者イザヤがこの言葉を語りました時、人々は、社会的な滅亡の危機に囲まれて、大きな不安の中にありました。多くの人は、「これから自分たちはどうなるのだろう」という不安と心配の中で、焦り、様々な画策を企てて危機を逃れようとしていました。しかし、そういう中で、神の人イザヤが静かに「あなたがたは、穏やかに、落ち着いて、信頼しているなら力を得る」(私訳)と語ったのです。

人間は、だれでも、自分の人生を自分で開拓していかなければならない宿命を負って存在していますから、生きていく重荷を背負っていますし、苦勞が伴い、時に悲しみや辛さも経験します。そして、未来はいつも不安に満ちていますし、危機はいつでもわたしたちを襲います。

しかし、危機の時こそ、不安が増大する時こそ、「穏やかに、落ち着いて、信頼して」生きていく道があることをイザヤは指し示しました。未来は信じることによってしか開かれません。

今年の4月に、それまで奉職していました教会と大学を離れて九州学院のチャプレンとして就任し、若くて闊達な生徒の皆さんの声に囲まれながら日々を過ごしていますが、真実に未来を拓く力を得るように、落ち着いて日々の業に励むことを改めて思っています。



4月7日(月)、九州学院院長とチャプレン(学校付牧師)の就任式が、日本福音ルーテル教会総会議長立山忠

第九代院長に阿部氏 〜厳かに院長就任式〜

浩牧師の司式により、九州学院ブラウンメモリアルチャペルにて行なわれました。九州学院の第九代院長(九州学院高校長と中学校長兼務)には阿部英樹氏(S28回卒・1976年卒)が就任し、九州学院チャプレンには小副川幸孝氏が就任しました。

グラウンドを全面改修

〜レンガ色からブルーに、中央には人工芝〜



4月16日、九州学院グラウンドの改修工事の竣工式が小副川チャプレンの司式の行われ、同グラウンドは、AAAF(日本陸上競技連盟公認のスーパーXをレーンに使用した全天候グラウンド第5種公認競技場として、

1995年に完成、2004年のレーンの張り替え時に第4種公認競技場の認定を受けています。今回の工事ではフィールド全面に人工芝を張り、レーンの色がレンガ色からブルーに変わりました。ブルーは「身体生理学面からパフォーマンス発揮に有利である」という論文発表もあり、最近の世界の陸上競技場のレーンの色の主流となっています。

頂点に輝く・中高剣道部 〜全国大会を次々制覇〜

高校 選抜・魁星旗制して2冠

3月28日、愛知県の春日井市総合体育館で行われた、第23回全国高校剣道選抜大会最終日、九州学院が男子団体決勝で島原(長崎)を破り、2年連続の優勝に輝きました。

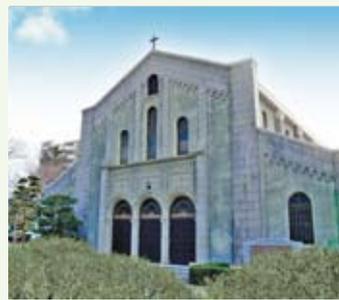
中学 神埼市長旗 剣聖武蔵顕彰も

3月29日、佐賀県神埼市の神埼中央公園体育館で行われた第25回神埼市長旗全国選抜中学生大会(剣道)男子団体決勝で、和歌山の西和を代表戦の末に破り、優勝を飾りました。

ブラウン・メモリアル・チャペルで復活祭の礼拝

●日本福音ルーテル大江教会主催●

4月20日、日本福音ルーテル大江教会主催の復活祭(イースター)の礼拝が、九州学院のキャンパスにある文化庁の有形登録文化財・ブラウン・メモリアルチャペルにて行われました。大江教会の前身は「九州学院教会」と称し、学院創立10年後の1921年に発足、学院内の特別教室で礼拝を開始した歴史的背景があります。



お知らせ 2014年度 体育祭9月6日(土) 九学祭11月15日(土)(一般)

使命に生きる

九州学院 院長 阿部 英樹

九州学院は、2014年度新入園児24名、中学一年生106名、高校一年生352名を新しく迎えました。中学高校の学び舎には、1411名が集まっています。その内161名が兄弟姉妹です。今年も多くの新入生が与えられたことに、心から感謝したいと思います。

今春、九州学院に迎えられた一人一人と九州学院との出会いには、目には見えない不思議な導きがあったと思います。また九州学院を卒業された同窓の皆様にとりましても、かつて数多くの学校の中から九州学院を選んだのは、自分だけのドラマがあったに違いないと思います。あの時の出会いがあったからこそ、今も九州学院のつながりの中にあり、将来に亘ってつながり続けることができるのです。

九州学院の初代院長遠山参良先生と九州学院の出会いも、不思議な導きによるものでした。遠山先生は、旧制の第五高等学校(今の熊本大学)で、文豪夏目漱石の後任者として英語科の主任教授を務めていたが、その安定した職を辞して九州学院のために人生を捧げたのでした。九州学院の設立を祈り求めていた、アメリカのルーテル教会から派遣されたC・L・ブラウン博士と出会い、キリスト教を土台とする九州学院教育の礎を築いたのでした。歴史を振り返る時、創立103年の歴史を導く神様の存在を強く感ずるところです。

九州学院を導かれた神様は、ここに集められた一人一人にも貴い使命(ミッション)を与えられると信じています。それぞれの生徒が九州学院での教育を通して心の内にある声に謙虚に耳を傾け、自分の使命を見出して、神様の導きによって「自分で自分を監督し、役に立つ善人」を目指す生涯を送ってもらいたいものです。そのためにも、生徒たちには在学中に校訓「敬天愛人」の原典になつている聖書の言葉を、自分の胸に刻んで欲しいと切に願っています。

イエスは言われた。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。隣人を自分のように愛しなさい。」(マタイによる福音書23:37-39)

私自身も九州学院の一員として、皆様との出会いに感謝しています。九州学院を愛する教職員と学び舎に集う若者と共に歩むことを使命とし、心を新たに成長していきたく思います。保護者の皆様、同窓の皆様、そして九州学院に連なる全ての皆様が、自分の使命を胸に抱き、聖書が説く「敬天愛人」の精神を實踐できますように、そのお働きの上に、神様からの豊かな導きとお恵みをお祈りいたします。

2014 育友会総会を開催

吉本孝寿会長が続投

5月17日(土)、九州学院ブラウン・メモリアル・チャペルにおいて2014年度の育友会総会が開催されました。

総会は恒例により小副川チャペレンによる聖書朗読・祈りに始まり、吉本会長、阿部院長の挨拶の後、議事に移行し、平成25年度の事業決算報告が行われました。新役員を選出、承認の後、26年度の行事や予算案の審議がなされ無事終了しました。



吉本孝寿会長

- 【新役員】(敬称略)
- 会長 吉本 孝寿
 - 副会長 蔵原 啓介
 - 副会長 橋口 武弘
 - 副会長 吉永 彰一
 - 副会長 渡辺 勇子
 - 書記 西 新子
 - 書記 高須 尚美
 - 書記 鶴田 昭子
 - 会計 船津 理香

生スマートフォン使用について」という演題で県警のサイバー犯罪対策官の講演が行われ、その後各クラスで学級懇談会が行われました。

夜は、熊本ホテルキャッスルにおいて執行役員やクラス役員などの新旧役員への歓迎会が開かれ、大いに盛り上がりしました。

また、春の全国選抜大会に出場した中高の6つのクラブに激励金を手渡ししました。

異動 (敬称略)

退任

内村 公春 (第8代院長、地歴公民)

池永 清 (事務長)

一九七二(昭和47)年

一九九六(平成8)年10月着任、本年3月退任。第4代池永春生院長のご子息。東京九学会で貢献中、事務長として招聘され、17年に巨り精勤されました。



池永 清 (事務長)

進路室だより

希望と適性に合った進路実現を

進路指導部長 坂田 孝

今春卒業者の進路決定状況は、四年制大学73.0%、短期大学2.3%、専修・各種学校17.5%、就職3.1%、海外進学等1.7%でした。

今年度の現役と過年度卒を合わせた四年制大学の合格者数は、国公立大31名(九州大1、熊本大6、熊本県立大12、長崎大1、福岡教育大3、鹿屋体育大1、三重大(医)1など)、私立大299名(亜細亜大1、青山学院大2、國學院大2、国際基督教大1、駒澤大2、中央大3、帝京大9、東海大6、東洋大6、日本大5、日本体育大8、法政大3、明治大5、明治学院大2、立教大2、神奈川大3、関東学院大7、同志社大14、立命館大4、関西大1、関西学院大3、近畿大4、九州産業大学6、西南学院大13、福岡大16、九州看護福祉大6、九州ルーテル学院大11、熊本学園大57、熊本保健科学大18、尚絅大5、崇城大15など)でした。

近年、地元志向、資格志向の傾向が見られ、今年度は熊本県内の大学・専門学校への進学者が前年比+11.8%増の42.6%となりました。また看護、リハビリなどの医療系を中心に資格取得を目指し就職に結びつける大学・専門学校進学も増加しました。

普通クラスからは、今年も、推薦入試やAO入試によって早期に合格を決める者が多数を占め、今春卒業生は、四年制大学で、191名が推薦・AO入試の合格者でした。うち指定校推薦については全国153もの大学から推薦依頼が寄せられ、今年度の合格者は86名でした。特に、特別な連携関係にある同志社大と福岡大には、ここ数年多数の卒業生を送っています。高校生活で勉学と諸活動の両立を果たし、良好な学習成績を維持・向上することができた人たちにこの方式での受験が増えています。

進路指導部としては、各自の希望と適性に合ったより良い進路実現ができるよう指導と支援を一層強めていきます。



兄弟姉妹が全員集合

～今年度は79組161人が在籍～

4月24日(土)、新しくなったグラウンドの人工芝の上で、学院のシンボルであるブラウン・メモリアル・チャーチをバックに、九州学院中高に在籍する兄弟姉妹161人の集合写真撮影を行いました。

本学院には毎年中高で、150人～170人も兄弟姉妹が在籍しています。また、同窓生の子弟が二代、三代、四代にわたって通っているということも九州学院の大きな特徴です。

長崎・諫早にある鎮西学院は本学院の初代院長遠山参良先生の母校で、九州学院と何かと関係が深く、毎年スポーツの交流試合を行っています。

32回目を迎えたこの春は、卓球・陸上部が学院で、硬式テニスは鎮西学院でそれぞれ交流試合を行いました。



田中亜依さん



塘田周作君

重な体験が出来ました。よくしていただいたホストファミリーの方々に感謝しています」と話しています。

好天に恵まれ 遠足・親睦会

4月15日(火)、九州学院恒例の遠足・親睦会が行われました。中学校は学内でクラブ紹介や親睦会、高校一年生はバスで阿蘇へ前日から研修旅行、高校二年生は熊本城内を親睦散策、高校三年生は動物園での親睦会と、それぞれ学年の計画に従って有意義な時を過ごしました。



4月14日(月)～15日(火)、阿蘇の司ヒラパークホテルにおいて高校一年生の一泊研修会を行いました。この研修会は①九州学院の建学の精神を学ぶ②団体の生活を通して自主性と協調性を学ぶ③教師と生徒、生徒同士の親睦を深めることを目的としています。この数年は費用の面から学内で行われていた恒例の一泊研修が復活したことになります。

富島 裕史(チャペレン)

大江教会の役員も永年務められました。

二〇〇三(平成15)年日本福音ルーテル教会からチャペレンとして着任、本年3月退任。

日本福音ルーテル静岡教会(東海教区)に転任。10年に巨り、学院の宗教主事としてキリスト教教育に尽力されました。



富島 裕史(チャペレン)

オーストラリア 姉妹校 交換留学の二人が帰国

インマヌエル・カレッジに二年間

九州学院はオーストラリア・アデレード市にある、インマヌエル・カレッジと、一九九〇年に姉妹校締結をし、今年度の4月に復学し、留学生交流、研修団の派遣などを行い交流を続けています。

高校3年の塘田周作君と田中亜依さんは1年間の留学生生活を終えた。二人は「毎日、貴校に充実しており、貴校に感謝しています。」と話しています。

- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 音楽 | 松山智香子 | 情報 | 近藤 綾 |
| 音楽 | 森永 有美 | 英語 | 松田加洋子 |
| 美術 | 林 浩 | 英語 | 坂本 あや |
| 養護 | 福井 陽子 | 英語 | 米納 実菜 |
| 事務 | 富田 安奈 | 保健体育 | 今村 龍介 |
| 幼稚園 | 上妻 洋子 | 家庭 | 川尾 真優 |
| チャペレン | 小副川幸孝 | 音楽 | 前村 知宏 |
| 国語 | 岩越 優子 | 美術 | 西川 紀絵 |
| 国語 | 津志田恭子 | 養護 | 服部 祐加 |
| 国語 | 竹下 知子 | 事務 | 前川 有紀 |
| 国語 | 田代 貴裕 | 事務 | 松浦 藍 |
| 数学 | 吉田 律子 | 事務 | 鈴木 恵利 |
| 数学 | 盛岡 ゆい | 幼稚園 | 伊藤 敦子 |
| 数学 | | 幼稚園 | 平川由紀子 |

高二が新潟スキー研修旅行

ーディズニーランドや東京観光もー

高校二年生(生徒345名、引率教師12名)は、2月23日～26日、上越国際スキー場(新潟県南魚沼市)でのスキーを中心とした、研修旅行を行いました。東京ディズニーランド、お台場、浅草の観光などもあり、生徒の思い出に残る素晴らしい旅行となりました。



人権学習会 細井良作氏が 全校生徒に講演

3月17日(月)、学院の体育館に全校生徒が集まりました。今回は南関町同和教育指導員の細井良作氏を招き、「繋がること」という演題でお話をして頂きました。

高校一年生は 阿蘇で一泊研修

4月14日(月)～15日(火)、阿蘇の司ヒラパークホテルにおいて高校一年生の一泊研修会を行いました。この研修

<p>剣道部 全国選抜剣道大会 (3月27・28日) 春日井市総合体育館</p> <p>男子個人組手 2位 川端 竜平(3年)</p> <p>女子個人組手 1位 沖田 理奈(3年) 2位 長尾 有梨(3年) 3位 加来 晴菜(3年)</p>	<p>柔道部 全国高等学校柔道選手権大会(日本武道館)(3月20日)</p> <p>男子個人 無差別級 ベスト16 満井 均士(3年)</p>	<p>空手道部 第33回全国高等学校空手道選抜大会 (3月26・28日) 静岡県エコーアリーナ</p> <p>男子団体組手 5位 熊本市内大会 (4月13日) 熊本市内大会 (4月13日) 熊本市内大会 (4月13日)</p>	<p>ハンドボール部 全九州ハンドボール県予選大会 (4月19日) 鹿央体育館</p> <p>男子個人 2位 光永 享(2年)</p>	<p>弓道部 第9回八代市杯弓道大会 (八代市弓道場)(3月16日)</p> <p>男子個人 2位 光永 享(2年)</p>	<p>ボクシング部 全国高校選抜ボクシング競技大会 (3月24・27日) 音屋大学福山記念館</p> <p>ライトフライ級 2位 山内 将大(3年)</p>	<p>テニス部 平成26年度テニス春九州ジュニア熊本県予選大会 (3月7日) 熊本県総合運動公園</p> <p>シングルス 4位 大海 朋佳(2年) 5位 林 成美(2年)</p>	<p>水泳部 第46回西日本令別選手権大会 (5月24・25日) アクアドームくまもと</p> <p>男子個人メドレー 3位 鮫島 悠輔(2年)</p>	<p>男子陸上部 西脇多可新入高校駅伝 (2月16日) 兵庫県</p> <p>4位 (2時間09分50秒) 第24回久根市長旗九州選抜高校駅伝 (3月9日) 鹿児島県久根市</p>	<p>女子陸上部 全国金栗記念選抜中長距離大会 (4月5日) うまかなよかなスタジアム</p> <p>1000m 1位 神林 勇太(1年)</p>	<p>自転車競技部 全国高校選抜自転車競技大会 (3月21日)</p> <p>女子個人ロード 1位 山内 将大(3年)</p>	<p>自転車競技部 全国高校選抜自転車競技大会 (3月21日)</p> <p>女子個人ロード 1位 山内 将大(3年)</p>	<p>陸上競技部 うまかなよかなスタジアム (4月13・14日)</p> <p>男子 100m: ①中村、③齊藤、200m: ②中村、④江藤、⑤齊藤、400m: ③江藤、1500m: ③神林、⑥亀鷹、5000m: ③林田、110m障害: ③野中、400m障害: ④野中、3000m障害: ②中神、⑤梅本、⑥木村、5000m競歩: ⑥吉川、400mリレー: ①(山下、中村、江藤、齊藤)、1600mリレー: ①(山下、松原、中村、江藤)、棒高跳び: ①中村</p>	<p>水泳部 男子 50m自由形: ①堀田、④東、100m自由形: ②堀田、③東、200m自由形: ④古本、400m自由形: ①渡邊、③古本、1500m自由形: ②渡邊、③矢住、⑥渡辺、100m背泳ぎ: ①道喜、④川端、200m背泳ぎ: ①道喜、②川端、100mバタフライ: ⑥山口、200mバタフライ: ③山口、200m個人メドレー: ①下田、④古木、400m個人メドレー: ①下田、②古木、400mリレー: ②(東、古本、渡邊、堀田)、800mリレー: ②(古本、鮫島、東、渡邊)、400mメドレーリレー: ②(道喜、鮫島、渡邊、東)</p> <p>女子 50m自由形: ⑤村田、100m自由形: ④有働、⑤宮本、200m自由形: ③有働、④宮本、⑥井手、400m自由形: ⑤村田、800m自由形: ①向山、100m背泳ぎ: ⑤阪梨、100m平泳ぎ: ②工藤、④荒木、⑤松本、200m平泳ぎ: ②工藤、⑤荒木、200m個人メドレー: ②向山、③近藤、400m個人メドレー: ①近藤、400mリレー: ②(宮本、工藤、井手、有働)、400mメドレーリレー: ②(向山、工藤、阪梨、宮本)</p>	<p>柔道部 男子 60kg級: ③園田、73kg級: ②池田、90kg級: ②西村、③砂光、100kg級: ②田中、100kg超級: ①満井、③井出</p> <p>女子 57kg級: ②園田</p>	<p>剣道部 男子 個人形: ③洲上、④岩寄</p> <p>女子 個人形: ①田尻、②加来、③寺川、⑤賀久、個人組手: ①沖田、③長尾、③寺川</p>	<p>ボクシング部 ライトフライ級: ①山内、③大賀、フライ級: ①内山、②寺川、ライトウエルター級: ③徳永、ウエルター級: ②河津、ミドル級: ②石坂</p>	<p>卓球部 女子個人単: ②倉崎</p>	<p>女子陸上部 100m: ④福嶋、200m: ③福嶋、⑤田中、400m: ④西、⑤西口、⑥有働、800m: ③西口、④西、100m障害: ①濱岡、②沢田、400mリレー: ①(山下、福嶋、沢田、田中)、1600mリレー: ①(西、西口、田中、福嶋) 7種競技: ④柴田</p>	<p>テニス部 女子個人複: ②大海・林、女子個人単: ⑥林</p>	<p>弓道部 男子: ⑥光永、女子: ④北口</p>	<p>サッカー部 2回戦</p>	<p>ソフトテニス部 男子 3回戦 女子 2回戦</p>	<p>男子バレーボール部 1回戦</p>	<p>弓道部 男女 予選</p>	<p>女子バレーボール部 2回戦</p>	<p>女子バスケット 2回戦</p>
---	--	--	--	---	---	---	---	---	--	--	--	--	---	---	--	--	----------------------------------	---	---	---------------------------------------	-----------------------------	---	---------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------



九州大会 チア部中・高ダブル優勝
全国大会(8月・大阪)に出場

3月27日(木)、芦屋大福山記念館(兵庫)で行われた第25回全国高校ボクシング選抜大会ライトフライ級決勝の山内将大選手(2年)が準優勝しました。先の総体でも全国で2位の実力を発揮し、優勝。8月の全国総体での活躍が期待されます。

5月24日(土)、福岡かすやドームで開かれた「全国中学校・高等学校ダンスドリル選手権大会2014九州大会」で、九州学院中学校、高校ともに優勝に輝きました。高校は高校生ソングリーダー部門Small編成で優勝のほか、高校生Pom部門Smallでも2位に入賞しました。中学校は同じく中学生ソングリーダー部門Small編成で優勝しました。これにより、8月に大阪市中央体育館で行われる全国大会のソングリーダー部門には、中高のチアダンス部が共に出場します。(高校は8月2日～3日、中学は8月4日)

2014(平成26年度)熊本県高等学校総合体育大会結果

2014年度高校総体は、5月30日(金)に開会式が行われ、昨年の優勝旗11本(駅伝を含む)を先頭に堂々の入場行進を行いました。下記の通り、各競技で好成績を収め、夏の全国総体(神奈川)での活躍が期待されます。

団体	優勝	水泳部男子(16連覇)、剣道部(10連覇)、ボクシング部(8連覇)、バスケット部(4連覇)、陸上競技部(男子学校対抗総合3連覇、学校対抗トラック4連覇)、柔道部(2連覇)、空手道部女子団体組手(2連覇)
	準優勝	自転車競技部、ラグビー部、水泳部女子、空手道部男子団体組手、女子陸上競技部(学校対抗総合は準優勝、学校対抗トラックは優勝)
	3位	バドミントン部、ハンドボール部、卓球部、テニス部女子

個人	男子	100m: ①中村、③齊藤、200m: ②中村、④江藤、⑤齊藤、400m: ③江藤、1500m: ③神林、⑥亀鷹、5000m: ③林田、110m障害: ③野中、400m障害: ④野中、3000m障害: ②中神、⑤梅本、⑥木村、5000m競歩: ⑥吉川、400mリレー: ①(山下、中村、江藤、齊藤)、1600mリレー: ①(山下、松原、中村、江藤)、棒高跳び: ①中村
	男子	50m自由形: ①堀田、④東、100m自由形: ②堀田、③東、200m自由形: ④古本、400m自由形: ①渡邊、③古本、1500m自由形: ②渡邊、③矢住、⑥渡辺、100m背泳ぎ: ①道喜、④川端、200m背泳ぎ: ①道喜、②川端、100mバタフライ: ⑥山口、200mバタフライ: ③山口、200m個人メドレー: ①下田、④古木、400m個人メドレー: ①下田、②古木、400mリレー: ②(東、古本、渡邊、堀田)、800mリレー: ②(古本、鮫島、東、渡邊)、400mメドレーリレー: ②(道喜、鮫島、渡邊、東)
	女子	50m自由形: ⑤村田、100m自由形: ④有働、⑤宮本、200m自由形: ③有働、④宮本、⑥井手、400m自由形: ⑤村田、800m自由形: ①向山、100m背泳ぎ: ⑤阪梨、100m平泳ぎ: ②工藤、④荒木、⑤松本、200m平泳ぎ: ②工藤、⑤荒木、200m個人メドレー: ②向山、③近藤、400m個人メドレー: ①近藤、400mリレー: ②(宮本、工藤、井手、有働)、400mメドレーリレー: ②(向山、工藤、阪梨、宮本)
	男子	60kg級: ③園田、73kg級: ②池田、90kg級: ②西村、③砂光、100kg級: ②田中、100kg超級: ①満井、③井出
	女子	57kg級: ②園田
	男子	個人形: ③洲上、④岩寄
	女子	個人形: ①田尻、②加来、③寺川、⑤賀久、個人組手: ①沖田、③長尾、③寺川
	男子	ライトフライ級: ①山内、③大賀、フライ級: ①内山、②寺川、ライトウエルター級: ③徳永、ウエルター級: ②河津、ミドル級: ②石坂
	女子	1000mタイムトライアル: ②嘉永、⑥渡邊、3000m個人追い抜き: ③嘉永、4000m速度競争: ②木原、4000m団体追い抜き: ①(木原、渡邊、嘉永、相葉)、ポイントレース: ①木原、③渡邊、スクラッチ: ④渡邊、⑤木原、ケイリン: ②嘉永、個人ロード: ③渡邊、④嘉永、⑤木原
	男子	100m: ④福嶋、200m: ③福嶋、⑤田中、400m: ④西、⑤西口、⑥有働、800m: ③西口、④西、100m障害: ①濱岡、②沢田、400mリレー: ①(山下、福嶋、沢田、田中)、1600mリレー: ①(西、西口、田中、福嶋) 7種競技: ④柴田
女子	女子個人複: ②大海・林、女子個人単: ⑥林	
男子	⑥光永、女子: ④北口	
男子	2回戦	
男子	2回戦	
男子	1回戦	
女子	2回戦	
男子	3回戦	
女子	2回戦	
男子	予選	
女子	2回戦	